

経営比較分析表（令和3年度決算）

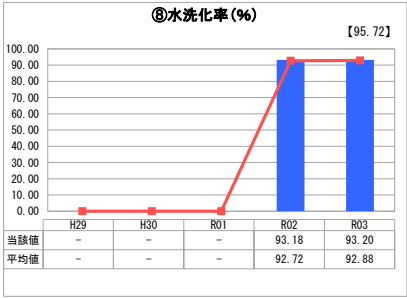
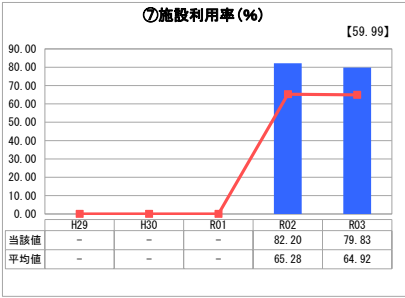
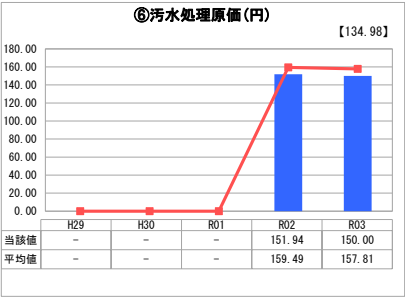
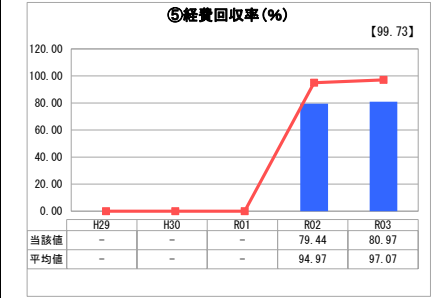
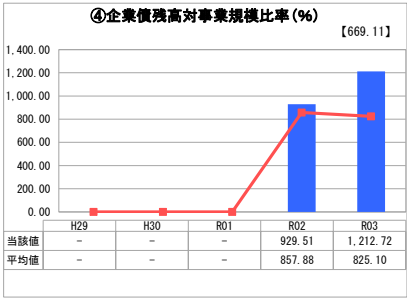
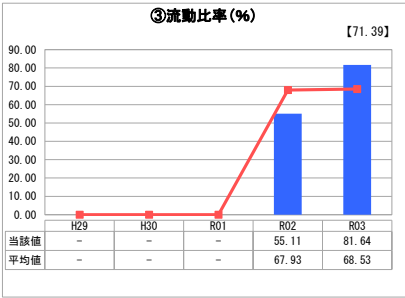
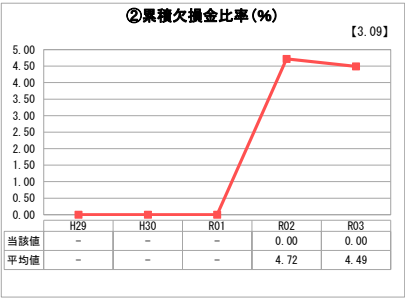
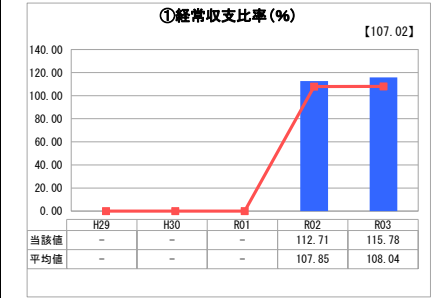
栃木県 佐野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.94	69.33	62.77	2,200

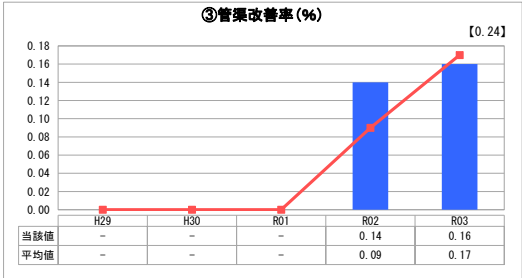
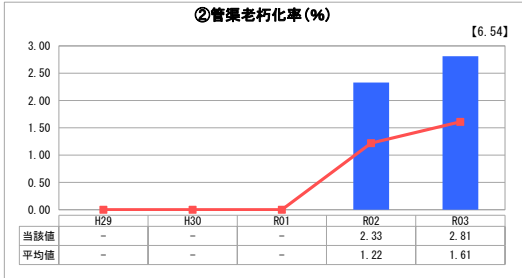
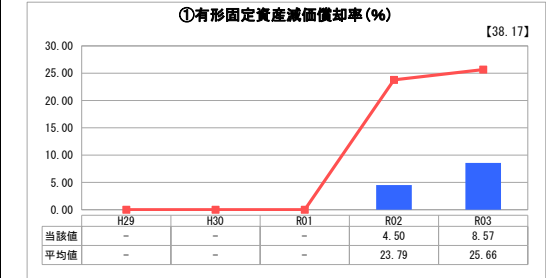
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
116,239	356.04	326.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
80,214	28.04	2,860.70

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、前年度に比べて増加している。これは主に下水道使用料の増加によるものである。
② 累積欠損金比率は、存在していない。
③ 流動比率は、現金の増加により前年度比で増加している。
④ 企業債残高対事業規模比率は、使用料収入の約1.2倍の企業債残高があることを示し、類似団体や全国平均より高くなっている。
⑤ 経費回収率は、前年度と同程度である。
⑥ 汚水処理原価は、1m当たり約150円で前年度と同程度であり、類似団体より低く全国平均より高い。
⑦ 施設利用率は、前年度より微減となり、類似団体や全国平均より高い状況である。
⑧ 水洗化率は、前年度と同程度であり、類似団体より高く全国平均より低い状況となっている。
経営の健全性・効率性は、③～⑥の指標から見るとやや低い状況にある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、法適用から2年しか経過しておらず類似団体や全国平均との比較は困難である。
② 管渠老朽化率は、類似団体より高いが全国平均より低い状況である。
③ 管渠改善率は、前年度より微増し類似団体や全国平均より低い状況である。

全体総括

将来に渡り持続的な下水道事業を経営していくために使用料収入を確保するとともに、効率的な公共下水道整備を行いながら、施設の改築(更新・長寿命化等)を合わせて行う必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。